

広報いわき

IWAKI

2025年

12

Vol.713

いわきのめぐみ



「伝統」が大地を守り育み、
その大地に「希望の種」が蒔かれ、
新たな「生命」が息吹きます。
生産者たちが「愛情と情熱」を注ぎ、
持続と挑戦が「ひと」を育て、
豊かに実る「いわきのめぐみ」。
このめぐみをつなぐバトンがあります。



めぐみ

をつなぐ

バトン



農業、そして水産業は、古来より人間の営みとともにある生命の源をつくる仕事です。我が国における食文化と国土を支える重要な産業であり、本市では約3,500人が従事しています。高齢化、担い手不足、気候変動など、簡単ではない課題が数多く存在しますが、それでも日々、田畑や海に出て、自然と向き合いながら、農水産物を育て、収穫し、私たちの「生命」を育んでくれています。

これらの食には、おいしさはもちろん、安全性に愚直に、そして真摯に向き合ってきた歴史があります。

いわきだけが持つさまざまな「めぐみ」。本特集では、このめぐみをいくつもつないできたバトンについて、その魅力と挑戦を紹介します。

第一のボタン

人のめぐみ



生産者

伝統をつなぎ、生命を育む

野菜農家 蛭田さん（山玉町）



生命を育む「誇り」

農業や漁業を営む方にとって、自然は単なる環境ではなく、生命の源です。春夏秋冬、日々変わる気候に合わせてながら、大地や海と向き合い、一粒の種から「生命」を育みます。

一つ一つの作業に手間と時間を惜しまず、愛情と情熱を「生命」に注ぎこむ生産者たち。そのたゆまない努力こそが、生産者という「人のめぐみ」です。

どんなに素晴らしい自然環境に恵まれていても、そこに生産者がいなければ、私たちのものに食が届くことはありません。

また、生産者に「誇り」がなければ、安全で質の高い食が届くこともありません。

農水産物を育てるのではなく、生命を育むという生産者の誇り。私たちにとっても生命の源であり、日常を彩ってくれる食は、生産者の誇りというボタンから始まります。

「想い」という付加価値

生産方法の見直しや栽培品目の拡大など、おいしい食を届けるための「探究心」。

また、ふるさとの土地を守り、人を育て、その地域が紡いできた固有の品種や味などの伝統を後世に残すという「想い」が生産物の品質と価値を高めます。

東日本大震災や台風による農地の浸水、漁業施設等の損壊など、度重なる自然災害は本市の第一次産業に甚大な被害をもたらしました。さらに、原発事故は安全性を信念にしていた生産者にとって大きな試練となりました。

こうした窮地の中でもボタンを離さずに私たち消費者や次の世代につないできてくれた生産者の皆さん。

生産者の誇りと想いがつなぐボタンは、自然との共生、食の安定供給、伝統文化の継承、そして地域社会の活性化など、私たちだけでなく、地域の未来をも育む大きな役割と使命を果たしています。

「おいしい」という感情は、多くの人の心に残る優しい記憶です。その原点には、生産者というめぐみが必ず存在します。

最高の一粒を
このいわきから

ブルーベリーファームいわき 渡邊さん（平）



常磐「者」の誇りを
次世代へ

漁師 佐藤さん（四倉町）



安全安心な野菜を届けたい

BUN FARM 鈴木さん（小川町）



この種を未来へ

野菜農家 新妻さん（大久町）



「おいしい」その一言のために

米農家 佐藤さん（四倉町）



愛情と絆でブランドを守る

草野畜産 草野さん（三和町）





食の学びを、自身の夢へ生かす

Interview

食に関わる仕事をしたいと思い、その基本を学べる本校に入学しました。実習が多く、友達と意見を交えながらおいしい食品を作ることが楽しいです。また、自分で育てた野菜はよりおいしく、喜びを感じます。

将来は、管理栄養士を目指しており、大学に進学してさらに学びを深め、学校や病院で活躍したいです。



食品流通科 3年
高木 暖さん

広げるための挑戦にも取り組んでいます。

食の基盤産業である農業の重要性は時代を超えて変わることはありません。農業に携わるプロフェッショナルを育成する学校の存在は「大地のめぐみ」を守るとともに、持続的な社会を作るうえでは欠かせません。生徒たちは、このバトンを将来に、そして私たち消費者に届けるため、しっかりと握り、3年間で駆け抜けていきます。

また、地元農家から提案された新規作物の栽培や、企業と連携した商品開発から販売までを行うプロジェクトへの参加など、農業の可能性を

生徒たちが運営する「磐農ストア」は、長年続く伝統的な取り組みです。校内で収穫された野菜や卵、手作りジャム等を製造・販売し、その中で経営なども学びます。その活動は地域にも開かれ、多くの人に愛されてきました。

2018年には県内高校初の「GAP認証」を取得しました。この認証は農業生産工程管理の一つで、同校が食の安全や環境保全に真摯に取り組んできた証明です。

生徒たちは、米や野菜、肉など、大地から育まれる「めぐみ」について、食の安全性や持続性、命の大切さなどを学び、生産者が守ってきた食のバトンをつないでいきます。

2018年には県内高校初の「GAP認証」を取得しました。この認証は農業生産工程管理の一つで、同校が食の安全や環境保全に真摯に取り組んできた証明です。

農業の未来を切り拓く

海のめぐみ



小名浜海星高等学校

未来の常磐者

大地のめぐみは海を育てます。大地を耕し、土壌を整え、田畑に水や肥料を与えることは、川を通じて海に栄養分や有機物を運び、豊かな漁場を作り出します。

本市の水産業は「常磐もの」としてブランド化され、地域経済の発展や魚食文化の継承という側面でも重要な役割を果たしてきました。

世界に誇れる「常磐もの」というめぐみを後世につなげていくため、未来の「常磐者」育成に不可欠な海洋教育を行う学校が存在します。

小名浜海星高校は、県内唯一の水産・海洋系高等学校であり、その歴史は古く、昭和9（1934）年に県水産試験場併設の講習所として開設されたのが始まりで約90年にわたる海の専門家を輩出してきました。

航海士を目指す海洋科、機関士を目指す海洋工学科、船舶・衛星通信などを学ぶ情報通信科、食品の製造・安全管理などを学ぶ食品システム科など、多岐にわたる専門知識・技術を航海実習などの実践的教育を通して習得していきます。

その中でも缶詰製造実習は、同校の伝統であり、地元小名浜港で水揚げされたマサバ等を教材にし、食品製造や衛生管理などを学びながら「安全でおいしく食卓に届ける」という使命感と責任感を養います。

さらに、部活動においても企業と共同した商品開発を長年行っています。使用する魚種の特徴に合わせて味付けや加工方法を研究し、さまざまな創意工夫を加えながら、魚食文化の普及啓発にも取り組んでいます。宝の海と呼ばれるいわき沖。この「海のめぐみ」を水産業のさまざまな分野から支える未来の常磐者。このバトンを後世につなげていくため、今日も海の学びを深めています。



子どもたちに美味しい地元料理を

Interview
食品システム科 2年 菅野 冬馬さん

子ども食堂で食べた料理に感動したことがきっかけで、調理師を目指しています。その夢を叶えるため、食品に関するさまざまな学びはとてもやりがいがあります。将来は、子ども食堂を立ち上げ、地元食材を使用した料理をたくさんの子どもたちに提供したいです。また、本校の特色ある学びを多くの人に知っていただき、水産業に携わる人が増えてくれたら嬉しいです。



地域のめぐみ



市内企業

高校生たちがつないだバトンを実践的なプロジェクトを通して、付加価値を高める「めぐみ」があります。(株)マルトは、60年以上にわたり地域に愛されてきたスーパーマーケットです。新鮮でおいしい食材の安定供給を使命とし、東日本大震災の際にも一部の店舗で翌日から営業を再開させるなど、地域のライフラインとしての役割を果たしてきました。そんな地域に根差した同社が取り組んでいるのが、高校生との商品開発プロジェクトです。高校生の発想や工夫を最大限に取り入れながら地元農林水産物を使用した商品開発を進め、地元食材の魅力発信につなげるとともに、高校生のキャリア形成に寄与することを目的としています。

また、本プロジェクトは、磐城農業高校や小名浜海星高校での取り組みに加え、磐城校が丘高校や平商業高校といった普通科等の高校生にも対象を広げ、学校生活だけでは得られない食品や販売の知識、そして地元食材の魅力などを知ることができ、貴重な機会となっています。さらに、こうした商品開発においては、木村ミルクプラント(株)、小泉食品(株)、(株)相馬屋、(株)夕月、西野屋食品(株)など、地域の食品メーカーも趣旨に賛同し、高校生たちの思いを形にすべく、全面協力しています。地域のさまざまな企業が手を取り合って高校生たちの挑戦を支え、育んでいく、そのつながりがこそが本市の「地域のめぐみ」です。

未来につなげる



「人づくり」は地域企業の使命

Interview



(株)マルト商事
商品開発室 次長
竹之下 貴士さん

私たちは、いわきの豊かな自然で育った食料資源の活用と、未来ある高校生の食を通じた人づくりを目的に、6年前から商品開発プロジェクトを開始しました。

商品開発から店頭販売までの一連の流れの中で、将来の糧になるような経験をしていただきたいと考えています。開発する商品には必ずいわき市産の食材を使うことで地産地消を進めるとともに、地域の食品会社や行政と一緒にプロジェクトを進めることで、市全体が活性化することを目指しています。

これまでプロジェクトにご協力いただいた皆様のおかげで、多くの商品を形にすることができました。今後も高校生の成長する姿を励みに、挑戦を続けていきたいと思っています。



磐城校が丘高校では、いわき市産いちごを使用した「さくらこちゃんいちごアイス」を開発・販売。文化祭や実店舗にて販売会を開催し、商品の魅力や地元産スイーツをPR。



いわき市産の長ネギをふんだんに使用したドレッシングを開発した平商業高校。同校では、授業としてこうした取り組みを進めており、高校生独自の視点で多数の商品を開発。



2011.10 月
いわき見える化プロジェクト始動

東日本大震災から15年、決して離さなかったバトン

間もなく、東日本大震災から15年の節目を迎えます。あの日、離れかけたバトンをつなぎ続けるために始まったのが「いわき見える化プロジェクト」。

15年という長い年月にわたり、復興への歩みを着実に進め、不撓不屈の思いで、安全性の可視化、常磐ものをはじめとした食のブランディング、伝統野菜の保存活動、そして人づくりなど、さまざまな挑戦に取り組んできました。

いわきの食の伝統や文化を守るため、そこに携わる人が一丸となって築いてきた「安全安心でおいしい食材」。そして、これらを未来の農林水産業につなげるため、挑戦を続ける高校生たちとそれを支える地域の力。

こうした「いわきのめぐみ」によってつながれたバトン。このバトンを受け取った私たちは、どう行動すべきでしょうか。

地産地消の推進、食育、フードロスの削減、生産者への感謝など、今日からできる一つ一つの行動が、次世代に渡すバトンに変わります。

数々の困難を乗り越える中で生まれた、いわきの食の根底を支える「安全で質の高い食を届ける」という強い思いは、これからも人を育て、新たなめぐみを生み出していきます。

私たちにもバトンがある

いわきのめぐみ

私たち

はるか遠い昔、先人たちがこの地に蒔いた一粒の種。
その種が、人・大地・海・地域というバトンによってつながれ、
「いわきのめぐみ」として、私たちのもとへ届きます。

TOPIX
2

小名浜・常磐地区

まちなか域内交通の実証運行

お問い合わせ

公共交通課 ☎22-1120

移動手段の充実や公共交通の不便地域の解消を図るため、小名浜・常磐地区で「まちなか域内交通」の実証運行が始まります。地域の皆さんの移動を支える新たな交通の形として、実際の利用状況やご利用により得られた意見をもとに、より便利で使いやすい仕組みづくりを進めます。ぜひご利用ください。

小名浜地区

運行路線

- 岡小名、湘南台、港ヶ丘 方面
- 大原、君ヶ塚 方面

※エリア内に、専用の停留所を設置
※イオンモールいわき小名浜を起終点

運行方法

路線定期運行〔決められた時間・ルートで運行します(予約不要)〕

運行期間

12月1日(月) ～ 来年2月20日(金) ※土日祝日も運行します

運賃

1乗車1人あたり300円(小学生以下は無料)

運行時間

8時～17時で時刻表※のとおり運行 ※時刻表など詳しくは市ホームページで

使用車両

乗車定員10名(運転手含む)
の車両を2台使用

市ホームページ

利用方法(運行主体: 株式会社磐城タクシー)

- 乗りたい時刻に最寄りの専用停留所で小型バスを待つ
- 乗車時に運賃を先払いし、降車停留所を運転手に伝える
- 目的地(降車停留所)に到着

常磐地区

対象エリア

湯本、関船、白鳥、西郷、下船尾、上湯長谷、下湯長谷、桜ヶ丘、水野谷、松が台 ※エリア内に、専用の乗降ポイントを設置

運行方法

デマンド型区域運行〔利用者の予約に応じて乗降ポイント間を結ぶルートやスケジュールを設定し運行します〕

運行期間

12月15日(月) ～ 来年2月20日(金) ※土日祝日も運行します(1月1日は除く)

運賃

1乗車1人あたり500円(小学生以下は無料)

運行時間

9時～16時で予約に応じて運行

使用車両

乗車定員10名(運転手含む)
の車両を2台使用

市ホームページ

利用方法(運行主体: 新常磐交通株式会社)

- コールセンターへ(090-9635-8403)前日正午までに電話予約
- コールセンターから利用当日の乗車予定時刻を連絡
- 予定時刻に乗車ポイントへ行き、車両が来たら乗車
- 他の予約者と乗合しながら目的地に到着

TOPIX
1

決算のあらまし



お問い合わせ

財政課 ☎22-7420

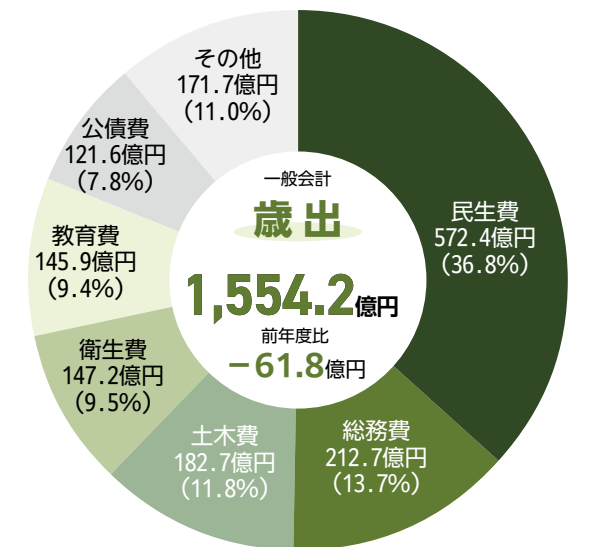
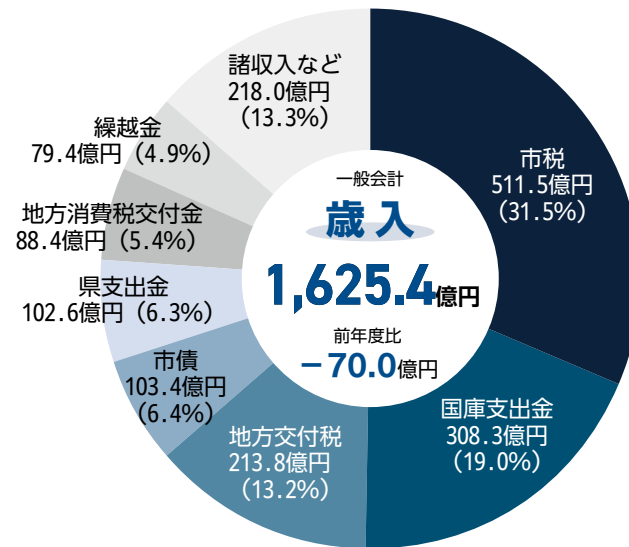
令和6年度の決算状況をお知らせします。

決算内容の詳細や令和7年度の上半期執行状況など、詳しくは市ホームページをご覧ください。

決算状況

歳入について、新型コロナウイルス感染症対策に関する国からの交付金が終了したことや、国の定額減税により市税が減ったことなどにより、前年度と比較して70億円減少しました。

歳出について、新型コロナウイルスワクチン接種に関する事業費の減および物価高騰にかかる低所得者給付金の対象者の減などにより、前年度と比較して61.8億円減少しました。



市税の内訳

固定資産税 223.3億円 (43.7%)
(前年度比 +3.3億円)市民税(個人・法人) 188.5億円 (36.9%)
(前年度比 -10.2億円)都市計画税 34.8億円 (6.8%)
(前年度比 +0.2億円)市たばこ税 28.8億円 (5.6%)
(前年度比 -0.7億円)事業所税 24.7億円 (4.8%)
(前年度比 -0.03億円)軽自動車税 10.6億円 (2.1%)
(前年度比 +0.4億円)入湯税など 0.8億円 (0.2%)
(前年度比 +0.03億円)

市民1人当たりの市民サービス額



49万3,947円

(人口31万4,640人: 令和7年4月1日現在)

費目	歳出額	内容
民生費	18万1,919円	子育て、高齢者、福祉など
総務費	6万7,602円	市税、戸籍、選挙など
土木費	5万8,054円	道路、住宅、公園の整備など
衛生費	4万6,772円	ごみ収集処理、各種検診など
教育費	4万6,369円	学校教育、スポーツ振興など
公債費	3万8,653円	借入金の返済(市債)など
その他	5万4,578円	消防、農林水産業など

TOPIX

5

年末年始のお知らせ

詳しくは、市ホームページをご覧ください



ごみ（燃やすごみ）の収集日

Aブロック

「燃やすごみ」が月・木コースの方

- ・年末最後の収集日 → 12月29日(月)
- ・年始最初の収集日 → 1月5日(月)

Bブロック

「燃やすごみ」が火・金コースの方

- ・年末最後の収集日 → 12月30日(火)
- ・年始最初の収集日 → 1月6日(火)



※ごみの収集カレンダーを確認して、決められた日の排出に協力をお願いします

詳しくは、清掃管理事務所（☎56-7963）、または各支所保健衛生担当窓口へお問い合わせください

直接搬入のごみの受け入れ

種類および搬入施設		月日・曜日	12/25 木	12/26 金	12/27 土	12/28 日	12/29 月	12/30 火	12/31 水	1/1 木	1/2 金	1/3 土	1/4 日	1/5 月
燃やすごみ・燃やす大型ごみ	北部清掃センター ☎34-2301					休			休	休	休	休	休	
	南部清掃センター ☎56-7963					休			休	休	休	休	休	
資源ごみ	クリンピーの家 ☎56-3651					9時～12時 13時～16時	休	休	休	休	休	休	9時～12時 13時～16時	休
燃やさないごみ	クリンピーの森 ☎56-7512					休	休	休	休	休	休	休	休	
	クリンピーの丘 ☎63-6216					休	休	休	休	休	休	休	休	
燃やさない大型ごみ、小型家電・金属類	クリンピーの丘 ☎63-6216					休	休	休	休	休	休	休	休	

※直接搬入の受付時間は、午前が8時30分から11時30分まで、午後が13時から16時30分までです

市役所・市民課窓口・火葬場

業務		月日・曜日	12/25 木	12/26 金	12/27 土	12/28 日	12/29 月	12/30 火	12/31 水	1/1 木	1/2 金	1/3 土	1/4 日	1/5 月
市役所（市民課窓口を除く）					休	休	休	休	休	休	休	休	休	
市民課窓口	本庁、各支所、豊間・中央台・江名・泉市民サービスセンター ※1	8時30分～17時 (本庁は9時～16時)			休	休	休	休	休	休	休	休	休	8時30分～17時 (本庁は9時～16時)
	いわき駅前市民サービスセンター ※2	10時～18時30分				10時～17時30分	休	休	休	休	休	休	10時～17時30分	休
火葬場（いわき清苑、いわき南清苑）						休				休	休	休	休	

※1 戸籍届（出生・死亡・婚姻・離婚届など）の受付は、休日・時間外にかかわらず、本庁は24時間（火葬関係許可証の発行は8時30分～17時）、小名浜・勿来・常磐支所は8時30分～17時です

※2 いわき駅前市民サービスセンターでは、平日17時以降及び土・日曜日の戸籍届の受付は行っておりません

医療センター・休日夜間急病診療所・休日救急歯科診療所

業務		月日・曜日	12/25 木	12/26 金	12/27 土	12/28 日	12/29 月	12/30 火	12/31 水	1/1 木	1/2 金	1/3 土	1/4 日	1/5 月
医療センター ☎26-3151					休	休	休	休	休	休	休	休	休	
休日夜間急病診療所 ※1 ☎27-1208			20時～23時		19時～23時	14時～18時 19時～23時	20時～23時		9時～13時、14時～18時、19時～23時			14時～18時 19時～23時		20時～23時
休日救急歯科診療所 ☎27-8620	救急患者 ※2		休	休	休	9時～12時 13時～16時	休	休	9時～12時、13時～16時					休
	障がい者 ※3		13時～16時	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休

※1 受付は、来所順になります

※2 受付は、15時30分までです

※3 予約制です。第1・第3水曜日と毎週木曜日の13時～16時に予約してください（祝日等にあたる場合は予約不可）

TOPIX

3

ツキノワグマにご注意



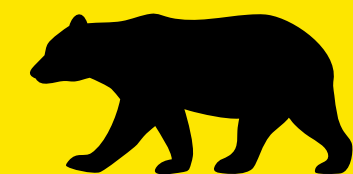
お問い合わせ

環境企画課 ☎22-7441



浜通り地域にツキノワグマ

出没注意報発令中



市内での目撃情報が多く寄せられていますが、クマと判明したのは、11月17日時点で川前地区の1件のみです。
 今後は「いわき市・ツキノワグマ被害防止プラン」に基づき、さらなる対策および調査に取り組んでいきます。

01 AI自動撮影カメラによる監視



- 現地に行かなくても撮影した画像などを確認できる
- 迅速かつ効率的にクマかどうかをAIが判定
- 撮影した画像・動画をメールやスマホアプリで職員に通知



従来よりも迅速にクマ出没の
注意喚起や対策が可能！

02 サーモカメラ搭載ドローンによる調査



- 通報場所の周辺を広範囲に調査できる
- サーモカメラで熱源を感知し動物を発見
- 発見した動物を、ズーム機能でクマかどうか判別



人が立ち入れない場所も安全かつ効率的に調査可能！



ツキノワグマを目撃した場合は、市総合コールセンター（22-1111）または警察（110番）に通報してください

TOPIX

4

下水道管路の安全性を調査

お問い合わせ

下水道事業課 ☎22-1195

本年1月に他市で発生した下水道管路の破損による道路陥没事故を踏まえ、下水道管路の調査を実施しています。調査対象延長約7.8kmのうち、優先実施箇所（約64m）の調査が完了しました。

優先実施箇所の調査結果

管の一部に腐食などが確認されたことから、当該管路周辺地盤の空洞調査を実施

⇒空洞は無く、直ちに道路陥没に繋がるような不具合箇所は確認されていません



なお、腐食の原因となる硫化水素の発生源対策として、管内の清掃や換気などの対策を実施しました

今後の対応

優先実施箇所

管の改築に向け、設計や工事を進めていきます

優先実施箇所以外

本年度内の調査完了を目指し、不具合が発見された場合は、応急措置や修繕などの対策を行います

📷 第2回「競輪甲子園」



📍 いわき平競輪場

📅 11/2(日)・3(月)



＼全国から約60人の高校生が集結！／

自転車競技への関心を高め、若い世代の発掘や育成につなげようと、2024年に始まった競輪甲子園。

今年は、全国から約60人がいわき競輪場に集結し、1kmタイムトライアルや200mフライングタイムトライアルを行い、最終日には、1600mの順位決定戦と決勝戦が行われました。

いわき勢は、順位決定戦で平工業高校の石井颯真選手が総合7位に入賞しました。

📷 和食給食交流会



📍 大浦小学校

📅 11/11(木)



＼11/24は「和食の日」／

子どもたちが旬の食材や地域の味に親しみながら、日本の伝統的な「和食」文化を学ぶ食育の一環として、大浦小学校で学校給食交流会を開催しました。平で和食居酒屋「福いる」を営む塩井大輝さんを講師にお招きし、和食作りに欠かせない道具の紹介やだし巻き玉子作り体験などを行いました。生徒たちは、塩井さん監修の地場産品がたっぷり入った和食献立と一緒に味わい、和食への関心を深めました。

写真が語る「いわき」の歴史 狩猟の中心は銃からわなへ

いわき地域学会 小宅幸一

ヒトが狩猟移動を脱し農耕や牧畜によって定住するようになると、山間部や里山に棲息する野生動物から畑作物を守るための獣害駆除が必要となりました。

明治時代に入り外国の狩猟文化が流入すると、新たに都市の富裕層を中心に狩猟そのものを楽しむという趣向が登場します。

これに伴い法の整備も順次行われ、狩猟期間、狩猟方法、狩猟の対象鳥獣などが決められました。狩猟免許の内容も変化し、網、わな、銃に区分されます。昭和30年代から40年代にかけて、種目別では9割が銃免許者でした。

イノシシ被害が増加し、行政が有害鳥獣駆除事業を導入していくのもこの頃からです。全国的には狩猟免許取得者数は昭和50年代がピークで、いわき市における保有者も昭和56（1981）年には1,988人とピークを迎えます。これ以降、免許者は減少し、高齢化が進みます。背景には、元々日本の厳しい銃保有の規制が働いているうえに、野外スポーツとしては認めがたい風潮が若者に浸透していることが挙げられます。全国的には平成27（2015）年に免許種目別で網・わなが銃を超え、若者を中心に微増となっています。

このような中、市内のイノシシ棲息数は約7,200頭と推計されており、平成22年度に約5,200万円であった農作物の被害額は、わずか4年後の平成26年度には約9,800万円と2倍に急増しました。

市は、イノシシ捕獲報償金交付制度などを活用しながら、駆除頭数の増による適正な棲息数管理に努めています。



■写真 狩猟解禁で、愛犬とともに野山へ
〔平成12（2000）年11月 いわき民報社撮影〕

TOPIX
6

「市長と語ろう、いわきライフ」

お問い合わせ

広報広聴課 ☎22-7438

11月10日、いわきミライカレッジに参加している学生と内田市長による「市長と語ろう、いわきライフ」を実施し、学生が考える“いわきとの関わり”や“これからのいわき”への期待などについて意見を交わしました。



いわきミライカレッジとは

舞台は「たいらほこみち」。地域の方の意見をもとに、ストリートファニチャーの制作から人々の流れの変化検証までを行う、超・実践型まちづくりインターンシップです。

＼学生からはこんな意見が／

将来、いわきを離れてもさまざまな形で関わり続け、普段当たり前に感じている魅力を市民に再認識してもらえるような活動をしていきたい。ユニークな発想をする方の声をうまく市の施策に反映してほしい。



福島高専5年
吉田 叶和子さん



福島高専5年
長瀬 匠真さん



東日本国際大学2年
森合 彩乃さん



東日本国際大学2年
佐々木 岳さん



ZEN大学1年
井塚 杏奈さん



いわき市長
内田 広之

本市出身や市外の大学生・高専生たちで、本市のまちづくりを現地学習（フィールドワーク）を通して考えてくれました。共通項は、皆さん、いわきを好きになってくれていて、いわきの魅力や可能性を大いに評価してくれたことです。

参加者は、数週間、市内各地を巡り、課題を見つめ、この地の未来を語り合い、これからの魅力づくりに向けた調査や提言をしてくれました。彼ら彼女らに、未来と可能性を感じました。皆さんが、市内外から、いわきに関わっていききたいとのこと。こうした若者たちと共に、これからのいわきの未来を創っていききたいです！

TOPIX
7

市議会10月定例会を開催

お問い合わせ

総務課 ☎22-7401

いわき市議会10月定例会が、10月23日から11月7日までの16日間の会期で開催されました。条例廃止・改正や補正予算などについて審議され、24議案が可決・同意されました。なお、令和6年度決算関連の21議案については継続審査となりました。



市長からの主な提案内容

本年4月から実施している公立中学校給食費の無償化に続き、公立小学校の給食費を3学期から無償化するための事業費などが可決されました。

詳しくは、議会だより『ほうれんそう』や市議会ホームページをご覧ください。



「いわきのめぐみ Navi」開設

農業振興課 ☎22-7470

「いわきのめぐみNavi」は、いわき産農産物等の生産者や販売所、飲食店、料理レシピなどがまるごと分かるポータルサイトです。生産者の方のこだわりや販売場所、お得な情報なども掲載しています。ぜひご覧ください。



マイナンバーカード写真の無料撮影窓口を拡充

いわき市マイナンバーカードコールセンター
☎0120-711-069

マイナンバーカードの申請に必要な顔写真を無料で撮影しています。

12月1日(月)から無料撮影の窓口として、四倉支所および遠野支所を追加しましたので、ぜひご利用ください。

無料撮影窓口	受付時間
本庁市民課	平日 9時～16時
小名浜支所市民課	平日 8時30分～17時
勿来支所市民課	
常磐支所市民課	
内郷支所	
四倉支所	
遠野支所	
中央台市民サービスセンター	

※土日祝日、年末年始（12月29日から1月4日まで）は閉庁日です

この欄は広告です。

親同士のお見合い

@ いわき市労働福祉会館 第2会議室

12月13日(土) 14:00～

お子様の結婚がバッチリな方の交流会 費用：3,000円（税込）
※おひとりでもご夫婦でも同額

主催： 全国結婚相談所連盟 加盟
結婚相談所ムスベルいわき
いわき市植田町中央3-1-7 植田ビル1階
通話料無料 営業時間：10時～19時 定休日：第2・第4水曜日

0120-324-003

お知らせ

information

市政情報番組

テレビ

- ▶福島放送 12月13日(土) 9：55～
1月10日(土) 9：55～
- ▶福島中央テレビ 12月20日(土) 9：25～
- ▶福島テレビ 12月21日(日) 13：55～
- ▶テレビユー福島 12月27日(土) 9：25～

ラジオ

- ▶いわき市民コミュニティ放送（76.2MHz）
いわきWith
毎週月曜日 19：00～19：30
毎週金曜日 13：00～13：30（再放送）
毎週土曜日 8：30～9：00（再放送）
GOOD DAY いわき プラス
月～金曜日 7：45～／12：10～（再放送）
- ▶ラジオ福島（1431KHz・90.2MHz）
第2・第4土曜日 8：35～

今月の納期（納期限12月25日(木)）

- ・固定資産税・都市計画税 第3期
- ・国民健康保険税 第6期
- ・介護保険料（第1号被保険者） 第6期
- ・後期高齢者医療保険料 第5期
（納期限は1月5日(月)となります）

いわき市の人口（令和7年11月1日現在）（前月比）

- ・人口 313,319人（－251）
- ・男 153,629人（－123）
- ・女 159,690人（－128）
- ・世帯数 141,466世帯（－44）

いわき市公式 SNS

ライン
 フェイスブック
 エックス
 ユーチューブ

市ホームページより各種SNSの登録・フォローができます

いわき市総合コールセンター

電話 0246-22-1111／FAX 0246-22-1113
受付時間 平日 8：30～19：00
土日祝 8：30～17：00(12/29～1/3を除く)

よくあるお問い合わせはこちら



1 いわきコンピュータ・カレッジ

申込方法

いわきコンピュータ・カレッジ（泉町四丁目13-12）へ（窓口☎FAX）



☎ 56-0711 FAX 56-0751 info@iwaki-cc.ac.jp

区分	内容	日程	時間	料金	受付期間
指定校推薦・推薦・一般入試（第4期）※1	書類審査・面接試験	1/27(火)	9：30～12：00	1万円※2	12/19(金)～1/20(火)

- ※1 対象は高校卒業または卒業見込みの方、短大・大学・専門学校卒業見込みの方、高卒以上の社会人（在職者を含む）の方
- ※2 所定の要件を満たした場合は無料（詳しくは同校へ）

2 クリンピーの家

申込方法

12/20(土)までに、往復ハガキの往信欄に教室名・郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、返信欄に自分の宛先を明記して、〒972-8337 渡辺町中釜戸字大石沢24-1 クリンピーの家へ（申込フォーム可）



☎ 56-3651

教室名	内容	日程	時間	定員(抽選)	料金
サンドブラストで模様付け	空き瓶やガラス製品に砂を吹き付けて模様を付けた作品を作ります	1/8 (木)	9：30～12：00	8人	無料
布ぞうり作り	木綿の古布で室内ぞうりを作ります	1/16 (金)	9：30～14：30	8人	700円
くるみボタンプローチ作り	古布を利用してくるみボタンのプローチを3種類作ります	1/21 (水)	9：30～11：30	8人	500円
エコバッグを玉ねぎ染め	木綿のエコバッグを玉ねぎ染めします	1/31 (土)	9：00～12：00	10人	1,500円

3 フラワーセンター

申込方法

12/15(月)9時から、フラワーセンター（平四ツ波石森116）へ（窓口☎）



☎ 22-5667

教室名	日程	時間	定員（先着）	料金
お正月用フラワーボトルを作ろう	1/4(日)	10：00～12：00	10人	3,000円
ペーパークイリングでえと作り	1/17(土)	13：30～15：30	6人	2,000円
春に向けたバラの手入れ講座	1/18(日)	9：30～12：00	30人	500円
ガラスのアクセサリ作り	1/18(日)	13：30～15：30	10人	2,000円
フレグランスボトル・フラワーアレンジメント	1/24(土)	10：00～12：00	10人	2,300円
和風リース ひなまつりにも…	1/25(日)	10：00～12：00	8人	2,000円
生活インテリア雑貨作りVol.10 「バレンタインフラワーボックス作り」	1/25(日)	13：30～15：30	10人	2,500円※

※お子さん同伴の場合、小学生以下は1人のみ無料、中学生以上は1人のみ500円引き

4 生涯学習プラザ

申込方法

12/20(土)までに、ハガキに講座名・住所・氏名・年齢・性別・勤務先（市外の方）・電話番号を記入し、〒970-8026 平字一丁目1 生涯学習プラザへ（窓口 FAX）
申込フォーム可）



☎ 37-8888 FAX 22-5555 info@isgp.jp

講座名	日程	時間	定員(抽選)	対象
朗読教室（金曜日コース）	1/9・23、2/20・27、3/13・27の金曜日（全6回）	13：30～15：00	10人	18歳以上の方
朗読教室（日曜日コース）	1/11・25、2/8・22、3/8・22の日曜日（全6回）	13：30～15：00	10人	18歳以上の方
七宝でつくるアクセサリ※	1/24・31の土曜日（全2回）	10：00～12：00	12人	18歳以上の方
はねつきあそび！	1/24(土)	10：30～12：00	10組	幼児と保護者
エクセル応用講座	1/25(日)	10：00～12：30	24人	18歳以上の方
初心者向け資産形成講座	1/25(日)	10：30～12：00	30人	18歳以上の方

※別途材料費がかかります

第5回防災標語コンテストの受賞作品

災害対策課 ☎22－1153

子どもたちが考えた防災標語コンテストの受賞作品が決定しました。災害に備え、日頃から防災意識を高めましょう。

【最優秀賞】

○小学生低学年の部
綴小学校2年 金澤 陽葵さん
「さいがいじ 家ぞくつながる 171」

○小学生中学年の部
郷ヶ丘小学校3年 高橋 叶門さん
「大丈夫！！ その思い込み 大丈夫？」

○小学生高学年の部
小名浜東小学校5年 小野 夏空さん
「備えよう ローリングストックで 生活の一部に」

○中学生の部
中央台南中学校2年 辻村 光輝さん
「防災は 知識と行動 二刀流」

※最優秀賞以外の入賞作品など、詳しくは二次元コードへ



自転車や家具などの修理再生品

クリンピーの家 ☎56－3651

各家庭から回収した自転車や家具のうち、リサイクル可能なものを修理再生し、販売しています。

対象 市内在住の方（本人来館のみ申請受付）

申込方法 窓口に備え付けの申込用紙に必要事項を記入しクリンピーの家（渡辺町中釜戸大石沢24-1）へ

申込期間 12/2（火）～来年 1/9（金）

抽選日時 来年 1/10（土） 10：00

※抽選結果は17時に市ホームページでも公開します

※当選後のキャンセルはできません

料金 自転車＝2千円、家具＝3千円



市立美術館企画展
「いわき市小・中学生版画展プラスー版画のカー」

市立美術館 ☎25－1111

市内の児童生徒の版画作品を展示します。あわせて美術館が収蔵する版画作品の中からアンディ・ウォーホルなどのスクリーンプリントを展示します。

日時 来年 1/6（火）～25（日） 9：30～17：00
※13（火）・19（月）は休館

場所 市立美術館（2階企画展示室）

料金 無料

※コンサートやワークショップなどを同時開催します

※詳しくは、二次元コードへ



都市計画公聴会

都市計画課 ☎22－7511

いわき都市計画について、広く市民の皆さんから意見を聴くため、公聴会を開催します。

日時 来年 1/6（火） 18：30～

場所 市文化センター（1階大講義室）

内容 都市計画道路の変更
（長橋町北目線、久保町下好間線）

●公聴会で意見したい場合

申込方法 同課または市ホームページから公述申出書入手し、必要事項を記載し、同課へ

申込期間 12/4（木）～18（木）

※変更案は申込期間内に同課で閲覧可

※申込期間内に公述申出書の提出がなかった場合は、都市計画公聴会を中止します

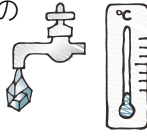
水道管の凍結を予防しましょう

水道局営業課 ☎22－9304

冬になり、気温が下がると水道管やメーターが凍ってしまい、水が出なくなったり、破損する場合があります。保温材が破れて管がむき出しになっていたり、電気を止めている家の給湯器は特に注意が必要です。早めに凍結の対策をしましょう。

【凍結防止のポイント】

- ・メーターボックス内に保温材を入れる
- ・露出している水道管や蛇口に水道管用の保温材や凍結防止電熱帯を巻く
- ・水抜き栓の付いた不凍水栓柱に取り替える



令和8年新春市民交歓会

秘書課 ☎22－7400

日時 来年 1/6（火） 16：00～18：00

場所 パレスいわや（鹿島町久保梅田4-1）

定員 450人（先着順）

料金 3千円

申込方法 往復ハガキの往信欄に参加人数（1枚で4人まで、1団体・事業所につき原則4人まで）・氏名・電話番号を記入し、返信欄に代表者の宛先を明記し、〒970-8686 同課へ

申込期限 12/15（月）必着

市有地を一般競争入札で売却

施設マネジメント課 ☎22－7421

物件

所在地	地積	最低入札価格
四倉町字東二丁目169番1	368.59㎡	1,444万9千円

対象 本市に住民登録がある方、または主たる事務所の所在地が本市である事業者

入札日時 来年 1/29（木） 14：00

※入札には、事前に保証金（入札しようとする価格の100分の3以上の金額）の納付が必要です

申込方法 同課で

申込期間 12/3（火）～来年 1/14（水）

障がい者作品展

障がい福祉課 ☎22－7485

12月3日から9日までの障害者週間にあわせて、障がい者作品展を開催します。障がいのある方が制作した作品などの展示や販売を行います。ぜひご来場ください。

日時 12/5（金）～12（金） 10：00～17：00
（12日は12時まで）

場所 道の駅 いわき・ら・ら・ミュウ 1階
（小名浜辰巳町43-1）



感染症を予防しましょう

保健所感染症対策課 ☎27－8606

■季節性インフルエンザ

今年は例年より1か月早い10月上旬に流行入りしており、12月に感染拡大のピークとなることが予想されます。主な感染経路は、飛沫感染と接触感染で、人が多く集まる場所では、特に注意が必要です。

【感染予防のポイント】

- ・予防接種を受ける
- ・正しくマスクを着用する
- ・こまめに換気をする
- ・室内を適度な湿度（50～60％）に保つ
- ・こまめな手洗い・手指の消毒を心がける

■ノロウイルスによる感染性胃腸炎

ノロウイルスは、主に食品を通じて感染しますが、人から人への感染力も極めて高いです。食品の鮮度に関わらず、ウイルスに汚染されたものを口にするとう感染します。

食中毒の約半数はノロウイルスによるもので、そのうち約7割は11月から2月に発生しています。

【感染予防のポイント】

- ・トイレの後や調理前には入念にせっけんで手を洗う
- ・調理器具を十分に洗浄・消毒する
- ・ハマグリなどの二枚貝類は、できるだけ生食を避け、十分に加熱してから食べる
- ・おう吐物や乳幼児のおむつを処理する際は、ビニール手袋などを使用し、必ず手洗いする



いわき献血冬の陣

保健所総務課 ☎27－8590

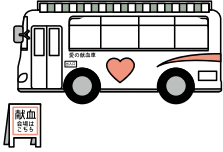
血液は人工的に造ることができず、長期間保存することもできません。冬は献血者が減少する傾向にありますので、献血へのご協力をお願いします。

日時 12/14（日） 9：30～16：30

場所 イオンいわき店（平）

※協力いただいた方には粗品をプレゼントします

※7月27日に実施した「いわき献血夏の陣」にも協力いただいた方には特別記念品を贈呈します



この欄は広告です。 内容についてのお問い合わせは直接、広告主までお願いします。

いわき泌尿器科でインフルエンザ予防接種をおこなっています

小・中学生 自己負担なし
※いわき市に住民登録のある方
一般 2,300円 /1回

高齢者 1,400円 /1回
※いわき市に住民登録のある
65歳以上の方

■実施日／火～土曜日14:00～15:00（※土曜日のみ17時まで）
お電話、受付窓口、またはWebサイト（右記QR）よりお申し込みください。

Webからのご予約はこちら▶

ご予約はこちら
☎0246-27-5522



公益財団法人ときわ会 いわき泌尿器科

〒973-8403 福島県いわき市内郷綴町沼尻62

介護付有料老人ホーム
幸福の家 桜の里

入居者様募集!!
3名入居者様を募集中です
入居一時金は0円です
（月々の利用料のみ）

特注の信楽焼の足湯浴槽です
天然自家温泉で
足湯ができます。

幸福の家 桜の里
デイサービスセンター
利用者様
随時募集中です!!
お試しご利用大歓迎です 無料送迎行います

いわき市設置運営指導指針による類型・表示事項 ■類型介護付有料老人ホーム
■表示事項 ●居住の権利形態・利用方式●利用料の支払い方式・月払い方式●入居時の要件・要支援・要介護●介護保険・いわき市指定介護保険特定施設●介護居室区分・全居室
●介護にかかわる職員体制・特定施設入居者生活介護60名 通所介護35名

特定建設業 小松電工(株) 福祉事業部
（資本金7,000万円）

一般社団法人全国介護付きホーム協会加盟施設
幸福の家 桜の里
TEL 0246-23-2077
いわき市平谷川瀬字根木作62



整形外科医療録⑨

足趾の変形と痛み



足や足の指（足趾）の痛みは、靴を履く時間の長い現代社会では多く見られます。代表的な疾患には、最も内側の足趾（母趾）が外側に曲がってしまう外反母趾があります。足の前方部の横のカーブが低くなり、足趾の付け根の骨（中足骨）の前方が広がります。一番内側にある母趾は、付け根の中足骨と足趾の関節から外側に曲がります。変形が強くなると先端部が回旋し、2番目の足趾に重なるようになることもあります。付け根の関節が内側に出っ張り、腫れたり赤くなったりして痛む

ようになります。

女性に多く（男女比1：10）、その原因は、遺伝、靴の影響、足部の筋力の低下が挙げられています。先端が細い靴やヒールが極端に高い靴は、変形や症状の悪化をきたす可能性があります。見た目ではなく、足の形態にあった、機能的に無理のない靴の選択が大切です。

また、足の中にある筋肉を鍛えることも大切で、足趾でのじゃんけんやタオルを引き寄せる運動が有効です。

けんこうQ&A 腎臓内科⑨

透析ってどんな治療？

～腎不全になったら～



腎臓の機能が極端に低下した状態を「腎不全」といいます。このような状態に陥ると「透析」または「腎移植」といった治療が必要になります。今回は透析についてご紹介します。透析には「血液透析」と「腹膜透析」の2つの方法があります。血液透析は、血液を体外に取り出して機械でろ過し、きれいにしたうえで体内に戻す方法です。通常は週3回、1回あたり4～5時間かけて行われます。治療を受けるには、腕などにバスキュラーアクセスと呼ばれる血液を取り出すための血管手術が必要になります。

一方、腹膜透析は、自分の腹膜（おなかの中の膜）を使って血液を浄化する方法です。腹腔内に透析液を注入し、一定時間後に排出することで、老廃物や余分な水分を除去します。自宅で行えることが多く、自分の生活スタイルに合わせた治療が可能です。

透析は一生続く治療と捉えられがちですが、透析を受けながら、旅行や趣味を楽しむ方も少なくありません。大切なのは、透析が必要な状態に至る前から、腎臓の健康を守る意識を持つことです。

令和8年度市潮学生寮の入寮生

教育政策課 ☎22-7540

場所 神奈川県川崎市多摩区三田二丁目1-19
(小田急線生田駅から徒歩5分)

対象 次のいずれも満たす方

①大学・短大・専修学校（修業年限2年以上の専門課程に限る）に在学中か入学見込みの男性（通信教育を除く）

②本県出身者または本市にゆかりのある方

定員 13人程度（応募多数時選考）

料金 ①入寮金=31,500円 ②寮費=月額58,550円
(寮費は、朝・夕の食料費、室内電気料を含む)

申込方法 市ホームページ、同課、各支所・高校などから入寮願書を手し、必要書類を添えて、同課へ持参

申込期間 12/8(月)～来年1/23(金)

31万人のまちづくりビジョン策定に向けたインタビューへの協力団体

政策企画課 ☎22-1216

若者を中心とするメンバーが、地域の皆さんの声を直接聴きながら、いわきの未来を考えていきます。

いわきで活動されている企業・団体等、現場での経験などを教えてくださる方を募集します。



広報いわき・市ホームページの掲載広告

広報広聴課 ☎22-7402

広報いわきや市ホームページに広告を掲載してみませんか。

掲載媒体	掲載場所	問い合わせ先
広報いわき	お知らせ欄の最下段1段（縦4.7センチメートル×横17.8センチメートル）	(有)福島メディア ☎29-3870
市ホームページ	トップページ下部（1枠あたり縦72ピクセル×横144ピクセル）	(株)アド・プラン ☎29-3154

相談

休日納税相談

税務課 ☎22-7424

平日に時間的余裕のない方の利便を図るため、休日納税相談窓口を開設します。

日時 12/14(日) 9:00～16:00

場所 同課、各税務事務所

内容 税の納付や納付方法の相談、納付書を紛失した際の再発行など

「いわき市森林・林業・木材産業振興プラン(素案)」に対する市民意見

林業振興課 ☎22-1181 FAX 22-1129

✉ringyoshinko@city.iwaki.lg.jp

森林・林業・木材産業の振興を図るため、基本方針などを定めた同プランを策定するにあたり、素案に対する意見を募集します。

資料は、市ホームページや同課、本庁舎1階市民ロビー、各支所情報公開コーナーで、12月8日(月)から公開します。

応募方法 任意の様式に、意見・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、〒970-8686 同課へ（直接持参・FAX可）

応募期間 12/8(月)～22(月)必着

※匿名での意見および電話・口頭は不可



「市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画一部改定版(素案)」に対する市民意見

資源循環推進課 ☎22-7529 FAX 22-7599

✉shigenjunkansuishin@city.iwaki.lg.jp

ごみ減量の更なる推進と安定的・効率的なごみ処理体制構築を図るため、同計画の改定版(素案)に対する意見を募集します。

資料は、市ホームページや同課、本庁舎1階市民ロビー、各支所情報公開コーナーで公開しています。

応募方法 任意の様式に意見・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、〒970-8686 同課へ（直接持参・FAX可）

応募期間 12/12(金)必着

※匿名での意見および電話・口頭は不可

市廃棄物減量等推進審議会の委員

資源循環推進課 ☎22-7529

✉shigenjunkansuishin@city.iwaki.lg.jp

ごみの減量化やリサイクルの有効な方策を審議するため、同審議会の委員を募集します。

対象 12月1日現在、満18歳以上（高校生を除く）の市内居住者で、任期中、平日の日中に5回程度開催する会議に出席できる方（市環境審議会委員の方を除く）

定員 2人（書類審査により選考）

任期 来年3月1日から2年間

申込方法 任意の様式に住所・氏名・年齢・性別・電話番号・職業および勤務先（現在就労していない方は略歴）を記入し「ごみの減量のために私が取り組んでいること」についての所見を800字程度でまとめ、〒970-8686 同課へ（直接持参・FAX可）

申込期限 12/26(金)消印有効



12月1日～1月15日

休日当番医など

お問い合わせ

医療対策課 ☎27-8572
または 各医療機関

月/日	診療科	医療機関（※診療協力医）	電話番号	診療時間
12月7日(日)	内科等	山口医院※（平）	24-1811	9時～17時
		小林胃腸科・肛門科医院（小名浜）	53-4466	
		呉羽総合病院（勿来）	63-2181	
		常磐病院（常磐）	81-5522	
12月14日(日)	内科等	おおはらこどもクリニック（勿来）	63-0001	9時～12時
		ふかや耳鼻咽喉科（小名浜）	58-1187	
		矢吹病院（勿来）	63-1818	
		いわき湯本病院（常磐）	42-3188	
12月21日(日)	内科等	常磐病院※（常磐）	81-5522	9時～15時
		山口医院※（平）	24-1811	
		やまぐち整形外科（小名浜）	29-7000	
		榎田病院（勿来）	63-3202	
12月28日(日)	内科等	中央台たなか眼科※（平）	29-1722	9時～14時
		常磐病院※（常磐）	81-5522	
		やまぎわこどもクリニック（平）	28-8686	
		いろは内科クリニック（小名浜）	73-0168	
12月30日(火)	内科等	呉羽総合病院（勿来）	63-2181	9時～17時
		かもめクリニック（常磐）	28-1010	
		常磐病院※（常磐）	81-5522	
		常磐病院※（常磐）	81-5522	

月/日	診療科	医療機関（※診療協力医）	電話番号	診療時間
12月31日(水)	内科等	中村病院（小名浜）	53-3141	9時～17時
		こうじま慈愛病院（勿来）	63-5141	
		比佐医院（常磐）	43-2313	
		常磐病院※（常磐）	81-5522	
1月1日(木)	内科等	かしま病院（小名浜）	58-8010	9時～17時
		矢吹病院（勿来）	63-1818	
		常磐病院（常磐）	81-5522	
		常磐病院※（常磐）	81-5522	
1月2日(金)	内科等	石井脳神経外科・眼科病院（小名浜）	58-3121	9時～17時
		呉羽総合病院（勿来）	63-2181	
		渡辺産科婦人科（常磐）	42-4567	
		常磐病院※（常磐）	81-5522	
1月3日(土)	内科等	磐城中央病院（小名浜）	53-3511	9時～17時
		榎田病院（勿来）	63-3202	
		常磐腎臓泌尿器クリニック（常磐）	43-1200	
		常磐病院※（常磐）	81-5522	
1月4日(日)	内科等	山口医院※（平）	24-1811	9時～17時
		村岡産婦人科医院（小名浜）	92-4578	
		呉羽総合病院（勿来）	63-2181	
		常磐病院※（常磐）	81-5522	
1月11日(日)	内科等	中央台たなか眼科※（平）	29-1722	9時～14時
		まつはし内科クリニック（平）	68-8031	
		おなほま腎臓・泌尿器科クリニック（小名浜）	84-5011	
		こうじま慈愛病院（勿来）	63-5141	
1月12日(月)	内科等	常磐病院※（常磐）	81-5522	9時～15時
		中央台たなか眼科※（平）	29-1722	
		須田医院（内郷）	27-6060	
		富岡クリニック（小名浜）	85-5770	

- 診療の受け付けは、診療終了時刻の30分前までです。
- 症状や当直医師の専門科によっては診療できない場合もあります。適宜受診前に医療機関へお問い合わせください。
- 当番医が急きょ変更となる場合があります。事前に医療機関または消防テレホンガイド（☎050-1808-6119）にお問い合わせください。なお、市ホームページでもご覧いただけます。



- この他にも診療している医療機関があります。詳しくは、福島県医療情報ネット（ナビイ）をご覧ください。



●かかりつけ医を持ちましよう

●ナビイ受診はやめましよう

●救急車は適正に利用しましよう

【休日夜間急病診療所（内科・小児科）】

総合保健福祉センター隣 ☎27-1208
平日：20時～23時 土曜日：19時～23時
日曜日：14時～18時、19時～23時
祝日：9時～13時、14時～18時、19時～23時

※新型コロナウイルス感染症・インフルエンザの検査については、市ホームページ、または電話で確認してください。

【休日救急歯科診療所】

総合保健福祉センター内 ☎27-8620
日曜日、祝日：9時～12時、13時～16時（受付終了時間15時30分）

【県こども救急電話相談】

☎024-521-3790 または #8000（プッシュ回線・携帯電話）
毎日 18時～翌朝8時

【県救急電話相談～救急車を呼ぶか迷ったら～】

☎024-524-3020 または #7119（プッシュ回線・携帯電話）
毎日 24時間対応



Iwaki

広報いわき／毎月1日発行
編集・発行／いわき市◆広報いわきに関する皆さんのご意見お待ちしています
TEL 0246(22)7402 FAX 0246(22)7469◆市政全般に関するお問い合わせ
総合コールセンター

TEL 0246(22)1111 FAX 0246(22)1113